

# こうとう民報

2013年 8月号 106

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155 FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

# 選挙も見舞いも申しあげます

2013年8月11日(土)の民報編集委員会

## 東京大空襲被災者追悼 灯籠流し



江東・亀戸のふれあい橋で灯籠流し

8月は、区内各地で様々な追悼行事が取り組まれ、15日には東京大空襲被災者追悼の灯籠流しがおこなわれました。

毎年終戦記念日の8月15日、旧中川・ふれあい橋のたもとで江東区・江戸川両区の主催で、東京大空襲被災者の追悼「灯籠流し」が開催されています。東京大空襲により旧中川の周辺地域では、小松川・平井地域で約4万人、旧中川で2800人が亡くなる大惨事でした。旧中川をはさみ両岸では、亀戸9丁目町会など各々の地域のみならず、いっせいに灯籠を流します。子どもたちなど家族連れも多くの方が参加していました。

## 議 4 報 中

江東区議会第2回定例会は、都議選と参議院選挙を7月12日の日程で行われました。

区議団は本会議質問で、選挙戦の争点となった「暮らしを守る経済政策」の提案や憲法、原発問題などで区の見解を求めるとともに、認可保育園の増設、防災対策、高齢者の住宅問題など切実な区民要求について、区の積極的な取り組みを求めました。

## 「差し押さえ」で生活が困難

区の政治姿勢で、この間とりわけ問題となっているのが、国保料や税金の滞納

## 生存権を脅かす税の強制徴収やめよ

処分での強制的な「差し押さえ」です。本会議では正保幹議員がこの問題を取り上げました。高齢で一人暮らし、年金月3万5千円で暮らす女性

もなく、生活困窮に追い込まれました。請負でトラックの輸送の仕事をしている運転手さんは売掛金を差し押さえられ、

が続いています。正保議員はこうした具体例を示し、「生存権を脅かすような強制徴収はしてはならない」として、国会議論でも「生活を著しく急迫させる恐れがあるときは、執行(徴収)を停止できる」と大臣が発言していること

暮らしを守る区政に 区の強制的な取立ての背景には、くらしや営業がますます大変になっている区民生活を省みず、保険料値上げや医療・介護など社会保障を後退させて「自己責任」を押し付ける自民党政

「利益第一主義」の典型です。さらに、3年間国政選挙の予定がないのをよいことに、競争する国づくりのために壊憲への布石を着々と打ってきています。円安、株高や大型公共事業へのバラマキで大企業が肥え太る「アベノミクス」による偽りの景気回復と、1000兆円を超えた国の借金を口実に、消費税増税・社会保障削減を強行する構えです。



江東区代表団の結団式



長崎大会に参加されたみなさん

## 原水爆禁止世界大会(長崎) 江東区から代表団15名が参加

広島・長崎で開かれる原水爆世界大会にさきがけて8月2日、原水爆禁止2013年世界大会参加の江東代表の結団式、8日には長崎へ出発しました。

今年の大会には、東京土建江東支部から4名、日本機関紙印刷所労働組合3名、江東区職員労働組合3名、

の意義について、石村和宏東京原水協事務局長は、「注目されるのは、日本政府を被爆国にふさわしく核兵器廃絶の立場に立たせる運動ができるかどうか」

終戦68年目の夏、日本列島では蝉時雨のなか夏祭りが盛りですが、異常な気候変動で猛暑と集中豪雨の災害が記録されています。参院選での日本共産党の躍進が報じられた日、宮崎監督の「風立ちぬ」を観ました。「ものけぢね」など従来の幻想的作風と異なり、関東大震災から15年戦争に突入した大正・昭和の時代に生きた私たちの親たちが主人公です。「空を飛びたい」

「浮世絵と江東」

歌川広重「亀戸天神境内」



概説 江東の歴史 (24)

江戸時代の江東区は多くの浮世絵に描かれ、歌川(安藤)広重と葛飾北斎の絵が有名です。

歌川広重は、1797(寛政9)年、八重洲河岸の火消組同心安藤徳右衛門の子として生まれ、15歳で歌川豊広の門人となって、歌川広重の名を許されました。1832(天保3)年、京都に上ったときのスケッチをもとにした「東海道五十三次」が代表作ですが1856(安政3)年、60歳のころ写生の新しい境地を開き、「名所江戸百景」でゴッホも模写した「大橋あたけの夕立」をはじめ多くの名作を描き、「東都名所」「江都名所」でも江東の姿を描いています。

葛飾北斎は、1760(宝暦10)年、本所割下水(墨田区)で生まれ、葛飾と称して狩野派、土佐派、琳派などを学び、司馬江漢の洋風画と銅版画をとり入れ独特な画風を創造しました。1836(天保7)年ごろには、万年橋あたりに住んでいます。「富嶽三十六景」では「本所立(竪)川」「深川万年橋下」「五百羅漢さざみ堂」など、洋風版画では「高橋の富士」を大胆な構図で描いています。フランスの印象派に大きな影響を与えました。

歌川国貞(豊国)は、1786(天明6)年生まれで、本所五つ目(五の橋)に住み「五渡亭国貞」の名で活躍。初代豊国を継いで亀戸天神前に住むと「亀戸豊国」ともよばれました。役者絵の背景に深川の風景を描き、「江戸自慢」で「両国夕涼」「洲崎二十六夜」「五百羅漢施餓鬼」などをとりあげています。亀戸三丁目の光明寺に墓があり、「五渡亭」の文字が刻まれています。

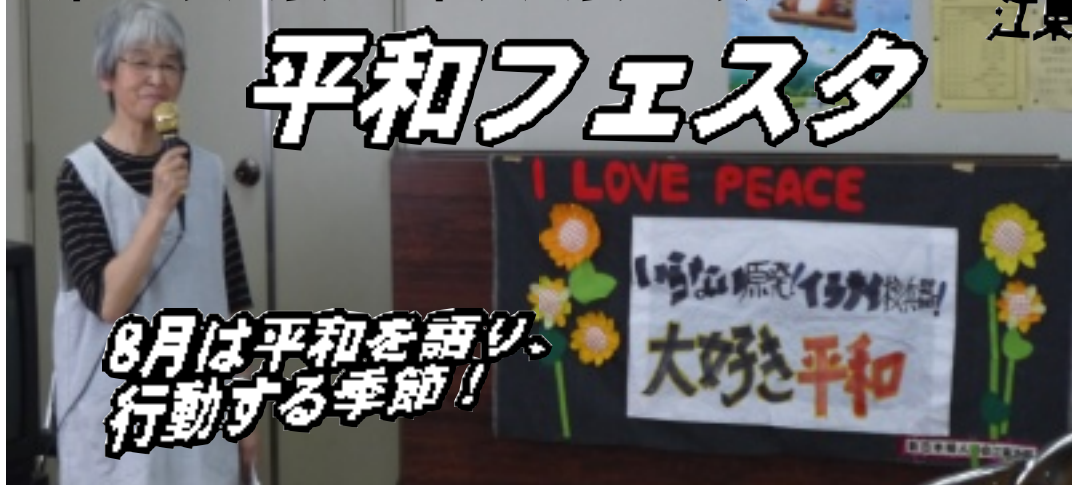
豊国の役者、広重の景色とならび歌川国芳の武者は三羽烏(がらす)とよばれ、国芳も「洲崎初日出の図」などを描いています。

明治、大正には小林清親が西洋画法の構図と光線を用いた浮世絵を描き、「五本松雨月」や「深川ふゆき弁天」などが有名です。

☆原水禁大会・母親大会応援☆

新日本婦人の会 江東支部

平和フェスタ



挨拶をする中村美智子会長

7月28日、新日本婦人の会・江東支部は「原水爆禁止世界大会・母親大会応援 平和フェスタ」を小松橋区民館で行いました。

中村美智子会長はオープニングで、「いま憲法改定など平和がひじょうにおびやかされる状況がつかられつつあります。新婦人・江東支部では、この数年間、原水爆禁止世界大会に代表団を派遣できていませんが、今年に代表を送り、戦争のない平和な世界をめざす力にしたい。今日はバザーや催しものたくさんあります。ぜひ楽しんでいってください」と挨拶。会場では、平和書道や絵手紙、タペストリーの展示。布ぞうりやちぎり絵の体験コーナー。みんなで健康食を食べ、交流を深めたおしゃべりカフェ。腹話術や母親大会50年のあゆみのビデオ上映などの催しも行われました。みんな楽しんでながらも、「核兵器なくそう！平和憲法を子どもたちに手渡そう！」と決意を固めあった1日となりました。



体験コーナー



バザー



展示コーナー



8月5日、文化センターで3回にわたって上映され、定員500席が3回とも満席になるほどの人たちが鑑賞しました。障がいのある子どもたちの放課後活動を記録したドキュメンタリー映画で、舞台は冬木にある「こびあクラブ」。クラブは「どの子にも生き生きと楽しい放課後を、発達のニーズに合った保育を保障していく場をつくらう」と母親たちが中心になってスタートしました。映画監督は枝川に住む宮崎信恵さん。映画は子どもたちと職員の間で実践を約3年にわたって取材し、放課後活動の重要性を訴えるとともに、子どもの心身の発達に欠かせない「自発性」の芽生え、「自尊心感情の大切さ」を浮き彫りにしています。

「世界」を生きる僕たち私たちが

近隣の公園、プール、奥多摩の川キャンプ、料理づくり、クリスマス会など各場面で子どもたちの「葛藤」とともに輝く笑顔が印象的です。

宮崎監督は「多くの団体・個人の理解と協力で作られました。3回とも満席なんてないことではないでしょうか。子どもたちの健やかな成長のため、放課後活動が一層充実、発展できるように頑張りましょう」と訴えました。



監督の宮崎信恵さん

行事予定

- 9月8日(日) 13時
  - 『亀戸事件90周年追悼会』
  - 赤門浄心寺・亀戸事件追悼会実行委員会
- 9月8日(日) 9時半
  - 『憲法9条を守る団地署名パート6』
- 9月9日(月) 7時半
  - 『第100回憲法守れ・9の日宣伝行動(区内7駅)』
- 9月10日(火) 19時
  - 『9の日宣伝行動100回記念大学習会』 総合区民センター・レクホール
- 9月21日(土) 16時
  - 『地域労組こうとう第5回定期大会』 東京土建江東支部会館